



みなみっ子

32号

学校教育目標

○かしこく

○やさしく

○たくましく

令和7年12月5日(金)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

学力も運動能力も伸ばすためのチャレンジ

私たち沖縄県は、学力が低いと話題になることがあります。しかしながら体力や運動能力については、あまり話題にあがることはないように思えます。私は現在、沖縄県児童生徒体力向上推進委員を拝命しています。その会議の中でも取り上げていることは、沖縄県の児童生徒の体力は全国と比較して低い状態にあることで、どのような手立てを講じるといいかということです。沖縄県内の常識として、一部のトップアスリートが活躍していることから、沖縄県は体力が高い?と誤解している状況にあるのではないかでしょうか。

私たち学校の児童も正直申し上げて、学力的にも体力的にも課題があるのが現状です。全国平均を下回る沖縄県平均も下回っている現状です。

そこで学校では、学力向上の手立てとして、「全ての子が参加・参画でき、わかる、できるを味わえる授業」の視点での授業改善を行っています。また、体力向上では、ケンパー・ランドやジャンピングボード、自由に使えるスポーツなわとび10本の設置や、長縄を運動場用と体育館・グリーン広場用合わせて40本用意しています。

授業改善は各教師一人ひとりが授業を公開し、授業力の向上を図っています。また、体力向上の取り組みは、ケンパー・ランドやジャンピングボードで縄跳びを楽しそうにする姿が見られます。

日々の取り組みが、一歩一歩着実に力をつけることにつながると考え取り組んでいます。

学力と体力を伸ばすためにできること、大切なこと

外遊びをする

小学生のころに十分に体を動かすことは、運動能力の土台をつくるだけでなく、脳の発達を促します。特別なスポーツでなくても、鬼ごっこをして走り回ったり、遊具をのぼり下りしたりするなど、自由に身体を動かしながら遊ぶことが大事です。スポーツ少年団等で取り組んでいる子は、オーバーワークでケガをしないようにすることも大切な視点です。

朝食を食べる

文部科学省の令和元年度「全国学力・学習状況調査」によると、「毎日朝食をとる児童ほど、学力調査の得点が高い傾向にある」という調査結果があります。また、スポーツ庁の令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、「毎日朝食を食べる児童は体力が高い」という傾向がみられます。

よく歩く

よく歩く子ほどストレスに対する抵抗力が高くなり、勉強を苦にしない傾向があるという報告があります。毎日の徒歩通学も、実はとても意味のあることなのです。特別な理由がなく、正門近くまで車で登校する子は、ルールを守ることの大切さが身につかないことや、自分さえよければいいという誤った感覚になることもとても気になります。よく歩くことは、心も体も、そして頭も鍛えることになっています。

